

令和5年度		学校評価自己評価表	北広島町立壬生小学校	令和5年4月6日現在
経営理念	<ミッション> ◎社会の中で自律して生きる力を有した子供を育てる <ビジョン> ① 子供の命を守るための安全教育，安全管理を徹底する。 ② 誰もが安心して学び生活するため，生徒指導・特別支援教育等の充実を図る。 ③ ふるさと学習，学びの変革，新学習指導要領を軸にバランスのとれた「体・徳・知」を育成する。 ④ 「子供主体」で「あらゆる教育活動」を活用し，「六つの資質・能力」を育てる。（カリキュラム・マネジメント） ⑤ 学校運営協議会を核とし，保護者・地域・関係機関との連携を継続し，地域の教育資源を生かし学校経営を行う。 ⑥ 子供の将来を見据え，教育的愛情と使命感にあふれた教職員集団（チーム壬生小）を創り，組織として機能させる。 ⑦ 人材育成と服務規律の厳正確保を図り，不祥事を未然防止する。 ⑧ 業務改善と働き方改革推進を図り，風通しがよく安心して働ける職場環境にする。		《学校教育目標》 ～チャレンジ☆やればできる！～ 目標をめざし 仲間と協力し 努力を楽しむ子の育成 《目指す学校像》 安心・安全に過ごせる学校 秩序と活力のある学校 保護者・地域とともに成長する学校 保護者・地域・関係機関と連携・協働する学校 《目指す子供像》 心身ともに健康な子 自他を大切にする子 進んで学ぶ子 《目指す教師像》 子供の命を守る教職員 教育的愛情と使命感あふれる教職員 絶えず研修と修養に努める教職員 「チーム壬生小」として連携・協働し，組織的に職務を遂行する教職員 児童・保護者・地域と連携・協働し，信頼される教職員	
	《学校経営目標達成のための取組の重点》 ①安全安心な教育環境の整備に努め，常に事件・事故の未然防止に留意した指導・管理を組織的に展開する教職員集団を育成する。 ②児童一人ひとりが大切にされ，安心して学び，生活するため，生徒指導や特別支援教育・人権教育・道徳教育・キャリア教育について，あらゆる教育活動を活用しその充実・推進を組織的・恒常的に展開する。 ③主体的な学習意欲・生活意欲，資質・能力の向上に向け，「学びの変革」を具現化した授業を実践する。 ④ふるさと（「壬生」「千代田」「北広島」）を常々意識化させる取組により，ふるさとを誇りに想い，郷土愛を育む。			

評価計画					自己評価				学校関係者評価		改善方策	
	中期経営目標	短期経営目標	評価項目（評価規準）	手だて	当初		達成度	評価	結果と課題の分析	評価		コメント
					期待値	達成値						
健康・体力	心身ともに健康で、登校から下校まで生き生きと活動する児童を育成する。	防災教育に対する取組を通して、防災に対する基本的知識・技能を身に付けさせ、的確な判断で自らの安全を守る態度を育成する。	自分の身の安全を守る意識や防災安全についての知識・理解や技能の習得に関わる項目において肯定的評価 70%以上	・より実践的な避難訓練を行い、学んだことを次に生かせるよう学期ごとにステップアップさせる。 ・外部講師の招聘でより専門的な知識・技能を身に付けさせる。 ・防災コーナー（掲示）の充実、防災に関する放送、声かけにより、児童の防災への意識の高まりを目指す。 ・体育的行事等には、自分の目標を設定して取り組ませる。	児童アンケート 70%							
		児童自身が十分に運動し、体力を意欲的に体力を高めようとする態度を育成する。	①体力テストの結果が各種目、県及び全国平均以上の児童が90%以上 ②運動会やマラソン大会に目標をもって取り組み、児童アンケート（学期に1回）で肯定的回答90%以上 ③縄跳びなどに積極的に取り組み、児童アンケート（学期に1回）で肯定的回答90%以上	①昨年度の記録をもとに個人内の目標を設定して取り組ませる。 ②体力テストの結果を分析し、重点種目に関わる体力が伸びるよう体育科の授業の充実を図る。 ③体育委員会を中心に、体力づくりにかかるイベント等を計画し、積極的に参加させる。	体力テスト 90% 児童アンケート 90%							
豊かな心	自他を大切に、自分たちの生活の質を向上させるためにメタ認知できる児童を育成する。	生活の決まりを守り、自分たちの生活を向上させるために整理整頓、挨拶等の基本的生活習慣の身についた児童を育成する。	・児童アンケート（各学期に1回）「規範意識」「基本的生活習慣」に関わる質問項目に対する肯定的回答が90%以上	・あいさつ、くつそろえ、整理整頓、無言移動・無言集合、無言清掃等に主体的に取り組めるようにするために、目標設定を丁寧に行って取り組ませる。 ・「規範意識」「基本的生活習慣」について取り組んだことに自信がもてるようにするために、定期的に評価したり、学期に一度表彰等を行う。	児童アンケート 90%							
		主体的に学校行事や委員会、係活動等に参加し、目標をもって行動し、ふりかえることのできる児童を育成する。	・「委員会活動」や「当番・係活動」などの充実を図り、「自己有用感」に係る児童アンケート（学期に1回）の肯定的回答90%以上 ・定期的な振り返りと認め合いを行い、承認感に係る児童アンケート（学期に1回）の肯定的回答90%以上	・学校生活をよりよくしたり、課題を解決したりする活動に主体的に取り組ませるために、「委員会活動」「当番・係活動」の充実を図る。 ・活動後にやり切った満足感や自己有用感を実感できるようにするために、児童に具体的な目標設定させるとともに、丁寧な振り返りと認め合いを行う。 ・学校・学級の一員としての所属意識を高めるために、帰りの会等を活用して、定期的に友達のよいところや頑張りを認め合う場を設定する。	児童アンケート 90%							
確かな学力	楽しく、分かるまで、粘り強く主体的に学ぼうとする児童を育成する。	ユニバーサルデザインの授業づくりを通して、「わかった・できた」と感じることのできる授業づくりを行い、基礎・基本の学力の定着と向上を図る。	・算数科テスト（各単元末実施）正答率 学級平均 全国比102以上 ・国語科テスト（各単元末実施）正答率 学級平均 全国比100以上	・算数科において、低学年段階からの基礎基本定着に重点を置き、算数科授業研究を軸に授業改善を図る。 ・担任と担任外の職員との協力体制を構築し、個別の学習支援を充実させる。（休憩時間や放課後学習の充実、保護者との連携）	全国比 算数科 102 国語科 100							
基礎となる力	豊かに生きるために必要な資質・能力の大切さを理解する児童を育成する。	本校で育成したい6つの資質・能力（意志力、自己回復力、協働する力、課題解決力、安全・安心をつくる力、多面的・多角的な見方・考え方）をバランスよく育成する。	・児童の自己評価アンケート（各学期1回実施）資質・能力についての肯定評価点 各85点以上 ・指導者の見取りアンケート（各学期1回実施）資質・能力についての肯定評価点 各75点以上	・総合的な学習の時間を中心に、様々な教科学習や教育活動において、自分にとっての「妨げ」と出合わせ、「えがく」「やってみる」「ふりかえる」場面を仕組む。 ・日々の目標設定や指導、振り返りなど様々な学習過程において、6つの資質・能力について意識する場面を仕組む。	児童自己評価 85点 指導者評価 75点							
信頼される学校	「安心・安全な学校」を基盤として、保護者・地域に信頼される学校づくりを進める。	業務の効率化を図るとともに、風通しの良い職員室を実現することで、不祥事防止に努める。	・時間外勤務時間が月45時間未満の職員80% ・子供と向き合う時間が確保されていると感じる職員の割合100%	・SSSの積極的活用による子供と向き合う時間を確保する。先を見通した業務計画を進め、職員の負担軽減を図る。 ・校内衛生委員会で働き方等についての状況確認を行い、改善案などを積極的に発信していく。	勤務時間 80% 向き合う 100%							
		働く意味や大切さを知り、将来の職業について考えさせ、キャリアプランニング能力を育成する。	・保護者アンケートのキャリア教育の項目において、学校の取組に対して肯定的な評価を85%以上にする。	・5・6年児童を対象にキャリア朝会で仕事に従事している保護者や地域の方から話をさせていただくことにより、児童のキャリア形成を図る。児童の感想や朝会の様子について学級通信や学校だより、HP等で保護者・地域への情報発信を行う。	85%							

（1…達成できなかった）<60 60≦（2…あまり達成できなかった）<80 80≦（3…おおむね達成できた）<100 100≦（4…十分達成できた）

A…学校の自己評価は大変妥当である B…学校の自己評価はほぼ妥当である C…学校の自己評価は少し妥当でない D…学校の自己評価は妥当でない